

- 「インタビュー項目」については、共通の設問である「自身の思い、取り組みに当たっての志」「活動の理念・コンセプト、目標」以外の具体的な活動の内容についてインタビュー時に聞いた内容である。
- インタビュー対象者25名中、24名の収録が終了している(3/1現在)。
※3/5収録予定。

No.	都道府県	観光地名	氏名(敬称略)	所属・役職	インタビュー項目(具体的な活動の内容)
1			清水 慎一	立教大学 観光学部 特任教授	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ観光地域づくりのために「中核人材」の育成が必要なのか ○求められる「中核人材」とはどのような資質や特性を備えるべきか ○「中核人材」の育成に当たって、この教材(ケース動画)がなぜ有効なのか ○ケース動画をどのように活用して欲しいか
2	北海道	阿寒湖 温泉	大西 雅之	NPO法人阿寒観光協会 まちづくり推進機構 理事長 ((株)阿寒グランドホテル (あかん遊久の里・鶴雅) 代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり組織のトップとしての考え方は? ○アイヌ文化と観光の関係性について ○アイヌ文化を具体的にどう観光の中に取り入れたのか? ○阿寒湖を代表するマリモについて ○阿寒湖とは別の地域(サロマ・オホーツク/道央)で旅館、ホテル経営を行いながら、気をつけていることは?
3	北海道	小樽	小川原 格	(社)小樽観光協会 副会長	<ul style="list-style-type: none"> ○数々のイベントの経験から「パートナーシップ」をどのように考えているか? ○運河保存運動に関連したイベント(「運河を守る会」「ポートフェスティバル」)について ○「小樽マニア大集合」について ○「雪あかりの路」について ○「しりべしセンター」について
4	青森県	大間	島 康子	まちおこしゲリラ集団あおぞら組 代表	<ul style="list-style-type: none"> ○「旗ふりウェルカム隊」の活動のきっかけと効果は? ○地域資源としての「マグロ」をどのように商品化したのか? ○開発した商品の売上を活動資金にする際の工夫は? ○活動メンバー以外との連携や次世代の担い手育成についてはどのように考えているのか? ○「ぶらっと下北」の発足の経緯と活動内容は?
5	青森県	八戸	木村 聡	八戸広域観光推進協議会 観光コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸あさぐるについて ○八戸あさぐるの実施に伴う、観光関連事業者の反応は? ○経済波及効果に結びつけるための取り組み ○「北のフルーツパーラー」について ○北のコナモン博覧会について ○食を活用した観光まちづくりについて ○リーダーシップ、人材育成について
6	岩手県	遠野	菊池 新一	東北まちづくり実践塾 塾長	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅「遠野風の丘」について ○遠野のグリーンツーリズムの考え方について ○遠野におけるグリーンツーリズムの具体的な取り組みと心がけていることは? ○グリーンツーリズムにおける人材育成の考え方について ○NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク設立の目的は? ○NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークの特徴や具体的な活動は? ○山里ネットの持つ考えの本質とは?(リーダーシップについて) ○地域づくりを進めるにあたり必要なリーダーシップとは?

No.	都道府県	観光地名	氏名(敬称略)	所属・役職	インタビュー項目(具体的な活動の内容)
7	山形県	米沢	佐藤 雄二※	小野川温泉・河鹿荘 代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ○「小野川温泉観光『知』実行委員会」について ○「旅館からお客様を外に出すこと」「町全体でホスピタリティアップに努め、感じてもらうこと」の具体的な取り組みは？ ○財源確保のための「夢ぐりプラン」が果たす役割とその成果 ○観光関連事業者以外にもアイデアを出してもらい、取り組みにつなげた経緯は？ ○短時間で取り組みを実行に移すための工夫は？ ○会議におけるルールづくりについて ○地域内の異業種や民間の企業と協働でまちづくりを進めることについて ○リーダーシップとは？
8	福島県	会津若松	渋川 恵男	会津若松商工会議所 副会頭	<ul style="list-style-type: none"> ○みずから取り組んだ建物調査のきっかけと成果は？ ○「よその3人組」と呼ばれてもあきらめなかった理由は？ ○地域で取り組む主体を巻き込む秘訣は？ ○人材育成の考え方は？ ○どのように行政等の支援制度を活用しているのか？
9	新潟県	村上	吉川 真嗣	村上町屋商人会 会長	<ul style="list-style-type: none"> ○観光資源として町屋に着目した理由は？ ○「町屋の人形さま巡り」(春)「町屋の屏風まつり」(秋)などの企画について ○「黒塀プロジェクト」「町屋の外観再生プロジェクト」について ○イベント等の企画について ○まちづくりを進めて行く上で必要なリーダーシップについて ○まちづくりに必要なリーダーシップとは？ ○まちづくりを進めてきた効果を実感する瞬間は？
10	千葉県	南房総	福原 正和	株式会社とみうら(枇杷倶楽部) 取締役 南房総市商工観光部観光プロモーション課 副主幹	<ul style="list-style-type: none"> ○自身が考えるリーダーシップとは？ ○自らやってみようと思わせる雰囲気づくりとは？ ○「びわ」それもあえて規格外のものに着目した理由は？ ○反対意見を逆手に取る方法とは？
11	長野県	飯田	高橋 充	(株)南信州観光公社 代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> ○南信州観光公社設立の経緯と基本的な考え方とは ○教育旅行の取り組みについて ○体験プログラムと受入システムの両立について ○販売促進について ○リーダーシップについて ○体験型観光における持続可能な取り組みとは？ ○今後取り組みたいことは？
12	長野県	飯山	木村 宏	一般社団法人 信州いいやま観光局 事業課長 兼 企画開発室長	<ul style="list-style-type: none"> ○多彩なプログラムづくりについて ○(プログラムづくりに際して)市民インストラクター制度とは？ ○着地型旅行商品「飯山旅々」について ○信越トレイルの取り組み ○個人客の取り込み方について ○新幹線の開業に合わせた取り組みは？

No.	都道府県	観光地名	氏名(敬称略)	所属・役職	インタビュー項目(具体的な活動の内容)
13	三重県	伊勢	橋川 史宏	(有)伊勢福 代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> ○人材育成についての考え方は？(人材育成の基本的な考え方と具体例) ○「熊野のブランド化」とは？ ○「攻めの商売よりも待ちの商売」とは ○観光地マーケティングの基本的な考え方は？ ○壁を打破するために必要なリーダーシップとは？ ○おかげ横丁の労働生産性向上とは？
14	三重県	鳥羽	江崎 貴久	(有)オズ(海島遊民くらぶ) 代表 (旅館海月 女将)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源の「循環」という考え方について ○人、モノ、お金をうまく「循環」させ、地域経済に「還元」するために地域で意識することは？ ○女性スタッフの人材活用方法や育成方法は？ ○着地型旅行商品について
15	鳥取県	境港	梶田 知身	境港市観光協会 会長	<ul style="list-style-type: none"> ○「スポンサー」についての考え方とその取り組みは？ ○「アイデアと企画を連発すること」とは？ ○メディアを活用した情報発信について ○来客数カウントの方法と目的は？ ○妖怪ガイドブックについて ○リーダーの条件は？
16	愛媛県	大洲	河野 達郎	(株)おおず街なか再生館 代表取締役専務	<ul style="list-style-type: none"> ○リーダーに求められる「プロデュース能力」とは？ ○プロデュースのための「技術」とは？ ○「案内人ノート」の内容と目的、成果は？ ○「自分で手と体を動かす」ことの重要性とは？ ○「着地型旅行商品」に取り組むにあたっての考え方は？
17	高知県	四万十川	畦地 履正	(株)四万十ドラマ 代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> ○「乗せて、叱咤激励する」とは？ ○実施している「インターンシップ研修」についての考え方は？ ○なぜ「地域・人を知るための事前調査」が大事なのか？ ○「考え方」を伝える手段としてのデザインとは？ ○「具体的な数値目標の設定」とは？ ○「1%のファン・味方から広げる」とは？ ○都市部のファンの取り込みのための取り組みとは？
18	福岡県	福岡 等	井手 修身	NPO法人アイデア九州・アジア 理事長	<ul style="list-style-type: none"> ○現状認識と問題意識『いま、なにが問題なのか？』 ○活動の目的と目標設定『誰(なに)のために、なにをしたかったのか？』 ○組織づくり『成果をあげる(運動を展開する)ための組織をどう組み立てたのか？』 ○コミュニティを俯瞰する『自分たちはいまどこにいて、何者と認識されているか』 ○活動プロセスをフェーズに分ける『活動はどのように進化をしたのか』 ○活用したリソースと活用方法『協働した人と組織は？』

No.	都道府県	観光地名	氏名(敬称略)	所属・役職	インタビュー項目(具体的な活動の内容)
19	長崎県	小値賀	高砂 樹史	おぢかアイランドツーリズム 専務取締役	<ul style="list-style-type: none"> ○着地型旅行商品について ○地域資源のマネジメント ○ガイドの人材育成について ○事業戦略についての考え方
20	大分県	安心院	植田 淳子	NPO法人安心院町グリーン ツーリズム研究会 事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ○取り組みの担い手育成のために取り組んでいる事とは？ ○最近の新たなターゲットとその拡大のための方策は？ ○地域住民の中に入って活動するにあたって心がけていることは？ ○今後考えている取り組みの展開は？
21	大分県	由布院	桑野 和泉	一般社団法人 由布院温泉 観光協会 会長	<ul style="list-style-type: none"> ○由布院の人材の考え方は？ ○由布院の観光地づくりのポイントは？ ○(温泉地ならではの文化、食、自然の中の一つ)牛喰い絶叫大会とは？ ○景観計画策定の意図は？ ○成長の管理とは？
22	大分県	別府	鶴田 浩一郎	NPO法人ハットウ・オンパク 代表理事	<ul style="list-style-type: none"> ○現状認識と問題意識『いま、なにが問題なのか？』 ○活動の目的と目標設定『誰(なに)のために、なにをしたかったのか？』 ○組織づくり『成果をあげる(運動を展開する)ための組織をどう組み立てたのか？』 ○コミュニティを俯瞰する『自分たちはいまどこにいて、何者と認識されているか？』 ○活動プロセスをフェーズに分ける『活動はどのように進化をしたのか？』 ○活用したリソースと活用方法『協働した人と組織は？』
23	熊本県	阿蘇	坂元 英俊	(財)阿蘇地域振興デザイン センター 事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ○「阿蘇カルデラツーリズム」における地域の見せ方の基本的な考え方とは？ ○まず取り組んだ門前町商店街の活性化にあたり、地元の商店主にアドバイスしたことは？ ○地域の取り組みの中で国の事業をどのように位置付けているのか？ ○観光地域づくりをすすめるにあたって留意している点は？
24	鹿児島県	桜島	福島 大輔	NPO法人桜島ミュージアム 理事長	<ul style="list-style-type: none"> ○体験型観光について ○椿油について ○人材育成について ○今後の取り組みについて
25	鹿児島県	鹿児島	下津 公一郎	NPO法人エコ・リンク・アソ シエーション 代表理事	<ul style="list-style-type: none"> ○一定の人員体制・雇用を確保するための考え方とは？ ○農山漁村の魅力をどのように発掘するのか？ ○地域の各主体を巻き込む動きにまで至ったプロセスとその際の考え方は？ ○次世代を担う人材育成についてはどのように考えているのか？